

チャイルドラインを「あなた」に「つたえる」情報誌

# With You

第66号 2020年冬

Childline  
YOKO  
HAMA

特定非営利活動法人

よこはまチャイルドライン

Tel 045-342-0255 Fax 045-342-0288

<http://www.yokohama-childline.com>



ふたりは同じ年生まれで、ふたりとも言葉を使った仕事をなさっていて、だから、ふたりの思いがハーモニーを奏で、すつところに入り込んでくる。そんな、知的でゆたかな、あたたかい時間になりました。

夏の終わりの素晴らしい講演会の第二弾で、作家の高橋源一郎さんとよこはまチャイルドラインの理事で児童精神科医の竹内直樹さんとの対談です。



## 「いつもアンテナをはって、 自分を磨いてゆくしかない」

児童精神科医 竹内 直樹 × 作家 高橋 源一郎

世の中には大きな声があふれている

竹内 「弱者」や「苦悩」とくくると、「病人」や「障がい者」は誰しもが想像しやすい。そしてニュースになります。しかし耳目をひく言葉は「時代の不安」を背景に浮沈します。大事にしたいことは多くの人に通底する「弱さ」気分です。マスコミが語る明確で大仰なものではありません。

人には明かしたくない卑屈さや劣等感があり、言葉に置きかえられない不安な気分、恥ずかしい本音が誰にもあります。あいまいさは耳目をひくニュースにはなりません。実際の私たちは鬱屈さや愚痴を一人ひとりが抱え込んでいます。しかも言葉には転じることができないで、世間体を気にして、自分を責めて悩みます。

高橋 そうですね。いま世の中には、威勢のいい大きな声があふれるようになってきました。攻撃的なつぶやきや罵り合いなど、みんなが言葉を強く発する時代で

すね。

だから、ひとは大きい声を聞いているとだんだん感受性がさびつき、麻痺してきて、大きい声しか拾えなくなっています。ちよつとした悩みは大きい電波に消されてしまっている。「小さい声」なんて、だれも聞かない。ダメなものだと思っている。

**竹内** 負けたり、弱かったり、ダメだったり。これらのマイナスの言葉は排斥するのではなく、プラスの意味や萌芽を持つこともあります。強い断定はむしろ、実際の問題をかき消します。やつと口にした消え入りそうな声だからこそ、相手にひびく場合もあります。

**高橋** ほんとにそう。さびついたアンテナをがんばって整備して、聞こえない声を聞くことが大切ですよ。答えなど簡単には出ない。たとえば、天皇制問題をどう思うか、と聞かれたことがあります。ぼくは簡単には言えないので20年待ってくれ、と言いました。天皇に関するあらゆる細かい電波を拾うためには20年かかる。そう簡単に答えは出ない。きつとだれ

もそんなことは求めていないけれど、そういう姿勢は貫く必要があるなあと。結論に至るプロセスを自分でつくるんですね。

この世界の複雑なものは無視されていますが、自分ひとりでも複雑な何かについて少なくともひとつは対応してゆく姿勢を貫く。遠回りだけれど、みんながそういう考えをもつようになればいいなあと思いますね。

作家としてすぐに答えの出ないことをやっています。じつは、ぼくはだれに向かって書いているかといえ、**「100年後の14歳」**に向けてなんです。

**竹内** 「100年後の14歳」ですか。含みをこめた本のタイトルみたいですね。

**高橋** 14歳って、もう大人ですよ。これは100年後もあまり変わっていないんじゃないでしょうか。しかし、100年後の世界の中は、わからない。日本はなくなっているかもしれないし。

そう思うと、書き方が変わってくるんですね。普遍的なものしか書けない。

## 医者と作家って

**竹内** 医学の世界も、最近ではエビデンス（客観的事実）や、世界標準の診断基準が流行しています。定義のある「名詞」型の「専門用語」が氾濫しています。

1980年ごろからわが国の精神医学に入ってきました。黒船の襲来と呼ぶ学者もいます。万国共通の診断マニュアルに照らし合わせ、羅列された項目をチェックする。コンピューター方式の診断です。目の前の子どもは見ず、子ども一人ひとりの「語り」は軽視されます。

現代は、「抑うつ」や「自閉症スペクトラム」の診断名が増えてきています。20年前までは日本民族にはうつ病が少なく、外国から調査団が来た国でもありません。



た。病気ではなく、診断名が増えたのです。

「精神的な病気」は社会によってつくられる傾向があります。子どもの自殺問題の見出しはよく、「夏休み明けの9月1日に自殺が多い」と報道があります。しかしこれは、不安に陥らせる煽情報道なのです。子どもの自殺は、何も9月1日だけが問題ではありません。「小見出し」だけに飛びつかず、そのニュースの本質を考えて欲しいものです。



人間、とくに大人にとって大切なことは、目の前の子どもと真摯に向き合うことで、関心を寄せることです。でも医学の潮流は日々に変わり、ぼくは異邦人のような少しつらい立場にいます。つづれそんな老舗の「のれん」に固執し、必死で守っている立場にいます。

**高橋** そうですね。診断するためのツールは発達して、医者が紙のほうばかり向いて、患者のほうを診ていない気がしますね。ある意

味、医学は発達したのかもしれないけれど、それでいいんでしょか。

ここにいて、生の人間を見ない。なぜか。生の人間はわからないからですよ。最初で最後の問題でもあるんですけれどね。

**竹内** どうでしょう。精神科医は思慮深く見えますか、誠実そうに見えますか（笑）。精神科医の職業は、詐欺師をやっているような後ろめたさを引きずる日々

です。うちの子どもに「どうして児童精神科医になつたのか」と聞かれたので、苦し紛れに、「子どもを養うため」と答えました。本音でもありません。本音でもないので。がっかりされました（笑）。

**高橋** 医者も相当あやしいですよね（笑）。

**竹内** そうです。

ひとの不幸がないと食べてゆけない職業です。

**高橋** 作家もそう。まあ、作家はひとが幸福でもいいんですけれど、何せ言葉を扱う仕事ですからね。言葉を使っていることは、謎なんです。作家って、何かを考えて、それに思いをのせて書いている、とひとは思っているでしょうけれど、それって「うそ」ですからね。

## 言葉に頼りすぎるのは危ない

**高橋** 親鸞は、革新的な宗教家です。宗教的に必要なものをすべて否定したんですね。厳しい修行、たくさん読経、真面目で清廉潔白であることなど、みんないらなくて。ただ、南無阿弥陀仏を唱えるだけでいいと。もちろん、すごい批判を浴びましたが、親鸞は説を曲げなかった。そして、じゃあ念仏は何回唱えればいいのか、という論争になったんですが、親鸞は0回でもいいと。言葉に出し

て言えば、本気か、となるんですね。親鸞は本気とか、そんなのどうでもいいというんです。

いやあ、好きですね。人間性とはこういうものだという見切りですね。

作家も一緒です。言葉は表現されたものがすべてであって、思ってもいないことを言っても書いてもOKなんです。

ここには、重要な考え方があります。つまり、人間とそのひとが書いたものは分けるんですね。親鸞も、念仏は唱えていると、だんだんそれに近づいていくと考えていた。「言葉のちから」ですね。

**竹内** 電話相談のチャイルドラインでも、相手の生活が見えないなかで、言葉に頼りすぎるのは危険です。電話だから、言葉に頼らざるをえませんが、寄りかかるのは危ないですね。電話の向こうの家の雑音が雄弁なことがあります。子どもが、「ママ大嫌い」と言っています。でも、辞書に記された「大嫌い」と実情とは違うことがあります。「嫌いだけれど、好き」

など、感情は複雑に混み入っています。だから、電話の受け手は「大嫌い」と言葉通りに受け止めてしまふのは誤解のもとです。「親は子どもを愛する」というステレオタイプこそ、それこそ時代の「神話」でしょう。

人間一人ひとりには多様性に満ち、そして世界は複雑にできています。大事なものは、その複雑さを味わう、複雑さを感じる、複雑さを辛抱し耐えること。でもいま、それがむずかしくなっています。

**高橋** ほんとにそうですね。他人ごとではなく、ぼくもそうなんです。

ぼくは、父が大嫌いでした。だから、18歳で家を出て、家には帰らなかつた。父はもともと芸術家志望でしたが、実家の工場を継ぎ、工場をつぶしたんです。大酒を飲む、女を買う、ほんととサイテーオトコで、家族全員から嫌われていました。22年前、77歳でなくなりましたが、ぼくは父親が死んで、せいせいしたんです、やっと死んだか、とね。葬儀は、僕たち夫婦と弟夫婦の4人で、斎場にいた

んですが、弔問にだれも来なかつた。30分くらいして3人来たんですが、こんなに人望もなかつたんだと思いましたね。それっきり、父親のことは忘れてしまっていました。

そして、ときは流れて、今から12年前、長男が2歳のときのことです。風呂場で長男に歯磨きさせようとして、ふと鏡を見ると、鏡のなかに父親がいるではありませんか。一瞬、化けて出たのかと思いましたが、よく見ると僕自身だった。長男と、父親になったぼくです。

そのとき、ふいに父親に歯磨きしてもらったことを思い出した。その瞬間、号泣しました。急に父とのいい思い出がよみがえってきたんです。嫌いだから忘れていた数々の記憶、サイテー人間だったけれど、子どもにはめっちゃやさしかった記憶、小児麻痺だったのに、夜中にぼくをおぶって病院に連れて行ってくれたこと、りんごをむいて食べさせてくれたこと、などなど。

そして、父のことをまったく理

解していなかったと自覚しました。そう考えるようになるまで、58年も必要だった。父の思いを受け取るのに、12年間もかかった。そこまできかないとわからなかつた。ぼくがわかつて初めて、やっと父の「父としての教育」が完了したのかもしれない。

ぼくは父親の複雑ささえ気づかずに、作家やってたんですから、大馬鹿野郎ですね。

## 自分を磨いてゆくしかない

**高橋** きょうのテーマは、「弱さを抱きしめて」なんです。最終的には自分のなかにある弱さ、認めたくないかもしれないけれど、だれのなかにもある分かりにくさや弱さを立ち止まって眺める必要があるのだと思います。

**竹内** わかりにくいことを、自分ひとりであたためて、時間の変化を待つ。風化したり、熟したり、理屈よりも体得です。知識をいたずらに求めず、立ち止まり、じつと内省することこそが必要です。

電話相談でも、「いい塩梅」に話す「方法」を求めるのではなく、子どもとの関係を築きながら、あせらないで、まとめないで、問題点を性急に指摘しないで、同じ時間と、同じ風景を「糸電話」の端と端で体験しあうことこそが目指したい時間です。

**高橋** ああ、チャイルドラインというところ、ぼくも人生相談やっていると、関連することを少し。ぼくは、鶴見俊輔という哲学者に影響を受けました。なにせ、問いへの答えがすごいんです。

代表的なものをひとつ紹介しましょう。鶴見さんの息子さんの友人が自殺したとき、息子さんにこう聞かれたそうです。「お父さん、人間は自殺していいの？」って。鶴見さんは即答します。「ああ、死んでもいい。もし戦争になってひとを殺すことになったり、女の人を犯すことになったりしたら、その前に死ぬ」と。

これは鶴見さんが自分に出した答えで、息子さんに出した答えではありませんよ。自分なら、こうするというわけです。この世に



正しい真理など存在しないし、何かを基準にしなくてはいけない。間違っているかもしれないけれど、自分を基準にする。その基準で生きてゆくしかないのではないのでしょうか。

「ぼくならこうするけど、君はどうするのか？」と問いには問いで答えるのです。それこそ、いのちがけだね。ぼくの最新刊も「答えより問いを探して」です（笑）。

普通のQ & Aは、正解を求めるけれど、何が正解かなんてわからないし、いつもアンテナをはって

て、自分を磨くしかない。ぼくはこうすると。それがじつは、いちばん説得力があるのではないのでしょうか。

**竹内** ぼくも鶴見さんは大好きです。鶴見さんの20代、幾度かの自殺未遂の時期がありました。苦しんだゆえからの哲学で、机上の論と迫力が違います。

ひとつにはそれぞれの生き方があり、それなりの答えがあります。完結した正解はありません。「それなり」の答えで結構です。きょうはありがとうございました。

■たかはし げんいちろう■

作家、評論家。NHKラジオすっぴん」金曜パーソナリティ。81年『さようなら、ギャングたち』でデビュー。88年『優雅で感傷的な日本野球』で第1回三島由紀夫賞、2002年『日本文学盛衰史』で第13回伊藤整文学賞、12年『さよならクリストファー・ロビン』で第48回谷崎潤一郎賞を受賞。「一億三千万人のための小説教室」「ニッポンの小説 百年の孤独」「恋する原発」「国民のコトバ」「弱さの思想 たそがれを抱きしめる」（辻信一との共著）など著作多数。



■たけうち なおき■

横浜市立大学医学部卒業後、児童精神科医として神奈川県立こども医療センター、横浜市立大学付属病院で臨床を続けた後、現在は開花館クリニック副院長。患者や家族を傷つけない医療、開かれた医療の実践を旨とする。いじめの問題、被害少年支援等、またボランティア活動などで、青少年問題に関してオピニオンリーダーとして精力的に活動を続けている。



新時代の本格幕明けです  
けつ降る雪のやけけさ

令和の時代の本格的な幕明けです  
どんな時代になるのでしょうか。  
いつの世も子どもたちが生き生きと暮らせ  
るよう、チャイルドラインでできることを  
しっかりやしていきたいと思えます。

二〇二〇年 元月

徳丸のり子

## よこはまチャイルドライン講師派遣の 会場から ～虐待問題について考える～

11月5日、神奈川県内（政令都市以外）のスクールソーシャルワーカー向けの「虐待対応における学校と福祉との連携」がテーマの研修会において、児童相談所在職35年のキャリアを誇るよこはまチャイルドライン支え手の小出太美夫先生が登場されました。

学校にわたっての虐待問題から始まり、子どもたちにどのような症状・反応が出てくるのか、その結果、発達にどのような障害が出るのかを話され、子どもだけではなく、虐待発生の4条件などを踏まえた親支援の考え方、児相を含め福祉と学校・地域がどのように連携をしていけば子どもたちを守っていけるかに言及されていました。

話のなかで一貫して流れるのは、先生の「子ども」をひとく

くりで考えないという思いです。一人ひとりきちんと歴史があり、育ってきた環境があり、子ども自身の思い・感情がある、そこを何より大切に考え見立てをする事が重要であること、福祉、学校、地域、医療、それぞれの立場で見立てが違っていても、それがどのように違うのか、なぜ違うのか、ではどうしていったらいいのかをしつかり話し合うことが大切であるとの指摘が印象的でした。

小出先生  
の知識とご  
経験、あふ  
れる子ども  
たちへの愛  
情を感じる  
1時間です  
た。



## チャイルドラインから講師を派遣します!!

よこはまチャイルドラインの講演が、学校・PTA・地域活動・幼稚園・企業での研修、勉強会等に活用されていることをご存知ですか？

子どもの声を直接聴くチャイルドラインが、現場から見た子どもの現状や、おとなは子どもとどう接していけばよいのかなど、子どもに関わるすべての方々の学びにつながっていく内容を取り揃えて講演を行っています。また、子どもたちには、自分の気持ちを話すことの大切さを伝える出前授業を行っており、チャイルドラインのことを直接お話させてもらおうと、子どもたちから「安心して電話をかけられる」との声が寄せられます。

子どもについての各分野における専門講師を派遣いたします。みなさまの活動にぜひお役立てください。各講師プロフィールはホームページをご覧ください。お問い合わせは事務局まで。



### 【過去にご依頼があった団体さま】

- ・全国共済神奈川県生活共同組合
- ・(株)ファンケル・(株)メリルリンチ
- ・横浜市医師会・横浜市各区社会福祉協議会
- ・横浜市児童相談所・よこはまユース
- ・横浜市立小中学校・大和市立中学校
- ・厚木市立中学校・川崎市立中学校
- ・横須賀市・平塚市 他

チャイルドライン事務局 ☎ 045-342-0255(月・水・木 11～19時) yokohama-childline@nifty.com  
<http://www.yokohama-childline.com> (ホームページのフォームからも申込みできます)

## よこはまチャイルドライン 電話利用状況 19年8月～11月

主訴	8月	9月	10月	11月
学校 フリースクール	24	40	45	49
部活	9	3	1	4
性	34	28	43	27
家庭	17	16	29	21
職場	0	1	1	0
ネット トラブル	1	3	2	1
地域	6	1	1	6
自分	67	43	61	53
不明	248	203	335	297
累 計	406	338	518	458

いつでもチャイルドライン  
いざとなったらチャイルドライン

「つながってほしい気持ち」

はい、チャイルドラインです。

最近の会話成立率は35%。約60%はすぐに切れたり、無言の後に切れたり、何か一言話して切れてしまいます。

そんな時、かけてくれた子どもの気持ちを想像してみることが多いです。「つながらないと思うたらつながっちゃった!」「話をきいてもらいたいけど、何から話せばいいだろう」「家にいてひとりだから淋しい」「誰かの声が聞きたい」など。

今は、SNSで「いいね!」や絵文字で簡単につながっているような気持ちになりがちです。でもほんとうは、

相手の息づかいや声を感じてつながりたい子どもたちもたくさんいるのではないのでしょうか。

子どもにとって、普段使い慣れない電話で知らないおとなと話すことは、確かに敷居が高いことでしょう。それでも、私たち受け手は、すぐに切れたり、無言電話も大切に受けとめ、いつか話をしてくれるその日を待つ、日々、電話を受け続けていきます。

それは、つながりたい子どもと電話でつながりたいからです。



## RECOMMEND

By. 猫のみみ

**Book** 目の見えない人は世界をどう見ているか

著/伊藤 亜沙 (光文社新書)

もし視覚がうばわれたら、何にもできなくなってしまうほど今の私は目に頼って生きています。

「見えない」ことは欠落ではなく脳の内部の内部に新しい扉が開かれることに…「見るのに目は必要ない」という発想にビックリ!

耳で「見る」、目で「聞く」、鼻で「食べる」、口で「嗅ぐ」、手で「読む」…何かをするのにどの器官を使ってもいい。大事なのは使っている器官でなく“どのように使っているか”である。

すごい!

**Movie** バグダッドカフェ

監督/パーシー・アドロン

ふたりの女性は、同じ日に夫婦ケンカをして夫に愛想をつかして、“怒りと悲しみ”を抱えこんでいた。そんな時、出会ったふたりが、一人の女性として自立していく姿が描かれている。子育てと仕事をひとりで切り盛りし、イライラが爆発した女性の怒りを受け止めたのが、相手の女性の悲しみだった。

ふたりは怒りや悲しみを乗り越え、「笑い」を選んだ。そして人間として自由になった。私の心には何とも言えない爽快さが残った。



## ご支援ありがとうございます



よこはまチャイルドラインの活動は、多くの方のご支援で成り立っています。  
子ども達からのフリーダイヤルの費用など、これからも皆さまからのご寄付が必要です。  
どうぞ応援よろしくお願ひいたします。

2019年8月21日～11月30日のご支援総額

263,300円

## あなたにもできる社会貢献

### ● 会員募集 ●

個人	正会員	3,000円/1口	総会の議決権あり
	賛助会員	3,000円/1口	—
法人	正会員	10,000円/1口	総会の議決権あり
	賛助会員	10,000円/1口	—

よこはまチャイルドライン賛助会員の  
年会費は、「寄付金」になります



年会費は何口でも歓迎!

ご入金は郵便局の払込票をご利用ください

※匿名希望の方は、その旨払込票にお書き添えください

座番号 **00270-6-13812**  
 座名 **NPO法人よこはまチャイルドライン**  
ゆうちょ銀行 当座 ○二九店13812

### よこはまチャイルドラインに寄付すると 「寄付金控除」が受けられます

横浜市の認定NPO法人であるよこはまチャイルドラインへの寄付は、「寄付金控除(税額控除)」の対象となり、確定申告をすることで税制上の優遇措置が講じられます。

#### 所得税

【寄付金の合計額-2000円】×40%が税額控除されます。  
※所得税額の25%が上限です

#### 住民税

横浜市に在住の方は【寄付金の合計額-2000円】×10%が税額控除されます。※お住まいの自治体によって異なります

#### 相続税

相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません

#### 法人税

法人による寄付は、一般寄附金の損金算入限度額とは別に、損金算入することができます。

詳細な手続きについては、最寄りの税務署にお問い合わせください

### ● 未使用切手、書き損じハガキはありませんか? ●



一年を通じ、神奈川県内の小中高生一人ひとりへチャイルドラインカードを配布しています。その数、実に127万枚。未使用の切手や書き損じのハガキはその配送代に充てることができます。封書に入れ、下記の宛先まで郵送してください。未使用のテレホンカードも大歓迎です。ご協力お願いいたします。

〒240-0002 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-70-16 よこはまチャイルドライン事務局宛

#### 編集後記

令和も2年目を迎えた。昨年は、念願の認定を取得と、高橋源一郎氏の講演会も実現できた。そして、学んだことは常に自分を磨きつつ、子どもの声を聴く。子どもとの関係性をつくりながら、あせらず、まとめず、問題点を指摘せずと同じときをながめるように。